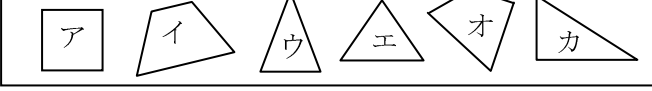


設定した言語活動を通して育てたい力

○ 図形の特徴に着目して分類したり、定義について確認したりすることを通して、三角形、四角形の意味を理解することができる。

思考力・判断力の育成

- ◇ 学年 第2学年
- ◇ 単元名 三角形と四角形
- ◇ 本時の目標 図形の特徴に着目して分類したり、定義について確認したりすることを通して、三角形、四角形の意味を理解する。
- ◇ 学習の流れ(1時間目/全12時間)

学習活動	指導上の留意事項 (◇) (◆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て)	評価規準〔観点〕 (評価方法)
1 点と点を結んだり、示された図形に切り取ったりして三角形と四角形を作る。 2 本時の問題とめあてを確認する。	◇作った三角形と四角形を【問題】の図形として使う。 【問題】ア～カの形から、△と同じなかまになるものをえらびましょう。  同じなかまになると考えたわけをせつめいしよう。	何に着目して分類したのかを明確にさせましょう。 ★図形の特徴に着目して分類させたり、その視点を明確にさせたりすることは、条件や性質を基に分類するという数学的な考え方とともに、根拠を明確にして考えたり説明したりする姿勢を身に付けさせることにつながります。
3 同じ仲間の図形を選ぶ。 【着目の視点】 ①見た目の形 ②直線の数 ③頂点の数 ④頂点の角度 ⑤辺の長さ ⑥図形の向き など	◇自分の決めた視点に基づいて自由に選ばせる。その際、「何に着目して選んだか」を明確にさせる。 ◆どのように選べばよいか思いつかない児童には、「同じ仲間を選ぶ」ということについて、他の具体例を示して理解させる。	
4 選んだ理由を発表する。 ①エが同じなかまです。形が同じだからです。 《他の児童の考え》ウとカは少しがっているけど、さんかくだから同じなかまだと思います。 《他の児童の考え》まとめて言うと、ウ、エ、カはさんかくだから、同じなかまです。 ②ウ、エ、カが同じなかまです。わけは、直線が3本の形だからです。 《他の児童の考え》付け加えて、ア、イ、オは直線が4本の形だから、同じなかまではありません。	◇互いの説明に、付け加えや修正をさせる。	・図形の特徴に着目して分類している。〔数学的な考え方〕(ノート、発言)
5 三角形の定義を知る。	◇②の考え方で選んでいる場合を取り上げ、三角形の定義について教える。	定義と異なる場合についても考えさせましょう。 ★ある事柄が成り立つ場合と成り立たない場合の両方を考えさせることで、その事柄についての理解を深めることができます。
6 三角形の定義を基に、作図する。 7 定義と異なる場合について考える。	◇児童自身に「3本の直線でかこまれた形」を作図させ、三角形をかくことができているかどうかを確認させる。 ◇「3本」「直線」「かこまれた」とは異なる場合について考えさせ、三角形になるかどうかを確認させる。	
8 四角形の定義について考える。	◇ア、イ、オの形を「何と言うか」「それはどんな形と言えよいか」について考えさせる。	・三角形、四角形の意味を理解している。〔数量や図形についての知識・理解〕(ノート、発言)
9 本時の学習のまとめをする。(四角形も同様に) 児童のまとめ例 「3本」の「直線」で「かこまれた」形を三角形という。三角形は、この3つが大切。	◇三角形であるために欠かせないことが何であることを確認させる。	
10 本時を振り返り、次時につなげる。	◇色々な図形の中から三角形や四角形を見付け、わけを説明したり、色々な三角形や四角形をかいたりすることを伝える。	